

江津更生保護

第68回
社会を明るくする運動
特集号

発行者
浜田地区保護司会
江津分区



「いあごん」

江津市長 山下 修

浜田地区保護司会江津分区の更生保護関係者の皆様におかれましては、平素より犯罪予防活動及び保護観察対象者の更生に格別のご尽力を賜り心よりお礼申し上げます。

さて、我が国における刑法犯罪は平成十四年をピークに減少に転じ、犯罪情勢は全体として改善しています。しかし、その一方で、凶悪事件の発生は後を絶たず、特殊詐欺や児童虐待、ストーカー犯罪

等が増加しています。窃盗や覚せい剤犯については再犯の問題が顕著になっており、高齢犯罪者の問題も表面化しています。こうした状況のなか、社会復帰できずに犯罪を繰り返す人たちの再犯率は上昇傾向にあり大きな課題となっております。

誰もが安心して暮らせる地域を実現するには、家庭や学校、そして地域が連携して社会全体で犯罪を防止する取り

組みが、より一層重要となります。また、子供たちを取り巻く環境にも非行への様々な誘惑があり、これも防止していかなくてはなりません。本市といたしましても、行政と地域が連携し、誰もが安心して暮らせる、非行や犯罪の無い町づくりを目指し、「社会を明るくする運動」や「青少年健全育成」活動に皆様とともに取り組んでいます。

こうした活動が長年にわたり継続されるのも、保護司の皆様をはじめとし、関係各位のご尽力があつてこそで、今後も連携を結びながらこれらの活動に取り組んでまいります。

適切に処遇し、自立して改善更正に向けて援助する活動をしておられます。その役割は、これまで以上に大切になってきており、まさしく、更正者、罪を反省する少年にとって、身近で自分を見てくれている頼れる人という存在です。

そこで、ご苦勞も多く、ときにはご自身が心を痛めかねない思いをなさっておられる更正保護ボランティアの皆様だけでなく、警察をはじめ、地域社

いと思えます。

保護司の皆様には日々、「奉仕の気持ち」「共助の心」で活動され、犯罪や非行の歯止めとなっており、地域のためにはなくてはならない活動です。こうした地道な努力が大きな力になると確信しています。

むすびにあたり保護司の皆様には、安心して安全な社会の実現のため日々ご尽力を頂き改めて感謝申し上げますとともに、引き続き、ご支援、ご協力をお願いし、挨拶いたします。



再犯防止は、地域社会全体で

江津警察署長 早水 賢三

浜田地区保護司会江津分区の皆様には、各地域において、更正保護、少年の非行防止と健全育成のため、献身的に活動されていることに深く敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

近年、全国、鳥根県において、刑法犯の認知件数は減少

していますが、刑法犯のうち成人の再犯率及び再非行少年率はともに上昇を続けており、安全で安心して暮らせる社会を構築する上で、再犯防止の取組がとて重要な課題になっていきます。

そのような情勢のなか、保護司の皆様は犯罪をした人や非行のある少年を社会の中で

そこで、ご苦勞も多く、ときにはご自身が心を痛めかねない思いをなさっておられる更正保護ボランティアの皆様だけでなく、警察をはじめ、地域社

会のあらゆる立場の人が立ち直り支援のための絆をつなぎ、社会から孤立させない心遣いの広がりに向け、機運を醸成していかなければならないと思っております。

どうか、江津市の全ての皆様様が穏やかで安全に暮らせる街づくりのため、犯罪の再発防止に向けた各種取組に対し、市民の皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしく願います。

「浜田地区協力雇用主会」 設立総会 開催

浜田地区保護司会では、かねてより懸案であった「浜田地区協力雇用主会」の設立に向けて、平成二十九年度の重点事業として取り組みました協力雇用主の組織化に向けての準備が整い、平成二十九年七月二十五日、「パレットこうつ」において、山本隆宏松江保護観察所長をはじめ、近重哲夫浜田市副市長、藤田和雄江津市副市長ほか多数の来賓をお迎えし、ご加入いただいた協力雇用主企業の出席を得て設立総会が盛大に開催されました。

「協力雇用主」とは、犯罪や非行に陥った人達の再犯の防止、更正のための生活基盤づくりには「就労」が社会復帰には不可欠ですが、求職活動の中で、その前歴ゆえに就職活動が叶わず更正意欲に水を差す結果もあります。こうした事情をご理解のうえ立ち直ろうとする彼らに就労の場を積極的に提供して頂く事業者をいいます。

会員増強の結果、下記のとおり二十七社のご加入をいただき、今後の活動に向けて大きな基盤づくりができました。

- ・浜田地区協力雇用主会 役員
- 会長 浦田 明彦 (浦田木材店株)
- 副会長 原 諭 (株原 工務所)
- 副会長 螺山 董繁 (株建 匠)
- ・江津地区会員 (十社)
- (株原 工務所) 原 諭
- (有)石見浄化槽センター 大源 淳也
- 江津石油株 永井 良三
- ロードテクノ 大源 淳也

・浜田・那賀地区会員 (十七社)

- | | |
|-------------|-------|
| (株)永大整備工業 | 永井 憲雄 |
| 江津土建株 | 室谷 卓治 |
| (株)井上製作所 | 井上 益雄 |
| 岩本ダイス工業株 | 岩本 淳 |
| 今井産業株 | 今井 久師 |
| 五大設備(有) | 佐々木啓之 |
| (有)沖野工業 | 沖野 讓二 |
| (株)シーライフ | 河上 清志 |
| (株)建 匠 | 螺山 郁繁 |
| 大和ラヂエーター工業株 | 杉本 哲也 |
| (株)えんどう | 遠藤 祐之 |
| (有)江木蒲鉾店 | 江木 修二 |
| 宮田建設工業株 | 宮田 智裕 |
| (有)濱松左工所 | 濱松 巧 |
| 浦田木材株 | 浦田 明彦 |
| 和幸建設株 | 辻野 正幸 |
| 阿郷建設(有) | 阿郷 一日 |
| ナダカツ株 | 名田 勝之 |
| (有)装巧舎 | 高野 衛佑 |
| (有)太田保商店 | 太田 稔 |
| 朝日製網(有) | 柳楽 實郎 |
| 三浦商事(有) | 三浦 道憲 |
| (有)岡村工務店 | 岡村 宏 |



黒羽刑務所視察研修

平成二十九年十二月四日～六日

浜田地区保護司会江津分区分

研修部長 三上 良紀

昨年十二月四日から六日の二泊三日で、浜田地区保護司会江津分区分では江津分区分保護司、その家族を含め総勢十九名で栃木県の黒羽刑務所視察研修を実施しました。

四日、江津を発ち石見空港より羽田空港を経由しバスで、鬼怒川温泉に向かい宿泊。翌日栃木県大田原市にある、黒羽刑務所へ到着しました。到着後、庶務課長さんよりDVDを交えて説明を受けました。この施設の歴史は古く昭和四十六年開庁、近く五十周年を迎えるとのこと。受刑者の特徴はA指標(実刑期が十年未満で犯罪傾向の進んでいない二十六歳以上の男子)の受刑者を收容し、施設收容定員は千七百八十名で、平成十九年の二千二百七十二人をピークとして年々減少に転じているとのこと。特筆すべきは外国人受刑者を多く收容していることと六十歳以上の高齢受刑者が年々増加傾向にあることである。また、平成十九年よりPFI事業(官民協働施設)を導入し、再犯防止を目的とし、国と民間企業が協働して民間のノウハウを生かした教育改善指導を行っているとの説明を受けました。その後施設内を見学した後、会議室で質疑応答の時間を設け、保護司からは活発な質問があり実のある視察研修を終りました。



庶務課長さんは、広島県出身で隣県島根という事で終始親しみのある親切的な対応が印象に残り、充実した研修と会員相互の親睦を深める有意義な視察研修旅行となりました。

平成29年度保護司会江津分区の活動紹介

保護司会江津分区では、「社会を明るくする運動」を中心に市内の小、中学校との連携事業や青少年健全育成活動並びに保護司として資質向上のための研修会開催や視察事業などの様々な事業活動を行っております。平成 29 年度の「第 67 回社会を明るくする運動」の活動を中心に概要を紹介いたします。

【1】「第 67 回社会を明るくする運動」江津市推進委員会の開催

○7月3日(月) 午後1時30分～2時30分

江津市総合市民センター2階会議室

「第 67 回社会を明るくする運動」と「江津市青少年健全育成協議会総会」が関係者 60 名の参加のもと、盆子原民生分区分長から山下修江津市長へ安倍晋三内閣総理大臣からのメッセージが伝達され、第 67 回社会を明るくする運動がスタートしました。

【2】中学生を対象とした標語の募集

○募集期間 6月13日(火)から7月20日(木)

- ・1次審査会……各中学校で審査（各校 15 作品・計 60 作品）
- ・2次審査会……市役所関係課長による審査（教育長ほか 8 名）
- ・最終審査会……保護司会役員会……9月5日(火)
- ・審査結果……下記のとおり
- ・表彰式……10月4日(水) 午後4時～ 江津市役所



賞名	作 品	学校名	学年	氏 名
最優秀賞	その言葉 自分に言われて どう思う？	江津中学校	1年	山田 楓花
優 秀 賞	どうしたの？ まだ間に合うよ 話してよ	青陵中学校	3年	須山 愛弓
	「助けて」と 言えないあの子に 声かけて	〃	2年	花田 さち
	あいさつは 地域をつなぐ 魔法の言葉	桜江中学校	3年	加藤 さつき
	やめようと 止める勇気が 思いやり	〃	2年	佐々岡 拓也
佳 作	「それはダメ！」 そう言えるのも 思いやり	江津中学校	2年	梅川 ちひろ
	「STOP」と 友に言える その勇気	〃	2年	野村 琉馬
	全てはね 画面越しには 伝わらない	〃	2年	石田 鈴夏
	一人じゃない 言える勇気が 友救う	江東中学校	3年	田儀 眞菜
	考えて その行動や その言葉	〃	2年	瓜崎 里奈
	もうヤダと 投げ出さないで 前を見て	桜江中学校	3年	遅越 安寿
	「ありがとう」 その一声で 皆笑顔	〃	3年	中曾 公貴
考えて それって遊び？ それともいじめ？	〃	3年	古野 瑠波	

賞名	学校名	学年	氏 名	該当事由
特別賞	桜江中学校	3年	遅越 安寿	3年連続入賞 1年：優秀賞 2年：佳作 3年：佳作

【3】作文コンテスト

作文コンテストは、法務省が次代を担う全国の小、中学生の皆さんに日常生活や学校生活の中で体験したことをもとに、犯罪や非行のない地域社会づくりや犯罪や非行などに関して考えたこと、感じたことを作文に書くことを通じて、運動に対する理解を深めてもらうことを目的として実施されます。

1. 江津市、浜田市の小学校 10 校から 15 作品、中学校 9 校から 21 作品の応募
2. 地区審査会により小、中学校から各 5 作品を県審査会へ推薦
3. 県審査結果（江津市関係分）

[中学校の部]

・山陰中央新報社賞

江津中学校 1 年 橋井 佑空 「大好きな町を伝えることで」

・島根県保護司会連合会長賞 ⇒中央審査会推薦作品

青陵中学校 3 年 泉川 真帆 「少年非行は誰が悪いのか」

【4】幟旗掲出

“社会を明るくする運動”を一層盛り上げ、市民への周知を図るために市内各所に掲出しました。

○掲出期間 7月1日(土)から7月31日(月)：(社明運動期間中)

- ・江津町 市役所周辺 15 本
- ・和木町 国道9号線沿い 30 本
- ・桜江町 B & G 体育館前 15 本

【5】大型懸垂幕

“社会を明るくする運動”期間中、前年度標語の最優秀作品を市役所庁舎に掲出しました。

・平成 28 年度標語最優秀作品

「消せないよ ネットに書き込む その言葉」

江津中学校 2 年 浅野 美紗さんの作品

【6】汽車通学生への啓発キャンペーン

通学生のほか一般の乗降客や通勤者など 200 名を越える方へテッシュペーパーを渡し社明運動と非行防止の啓発活動を実施しました。

○実施日 7月3日(月) 午前7時～8時40分

○場 所 J R 江津駅

○協 力 江津警察署 江津市更生保護女性会

【7】大型店店頭啓発キャンペーン

○実施日 7月3日(月) 午後4時～6時

○場 所 いずみ江津店 キヌヤ二宮店

ジュンテンドー江津店

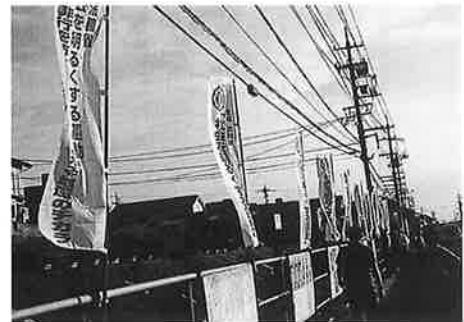
○協 力 江津警察署 江津市更生保護女性会

【8】中学校早朝「おはよう！」キャンペーン

地区担当保護司が市内4中学校へ訪問し、登校する中学生全員に挨拶しながら社明キャンペーン用品を渡し、社明運動の啓発活動を行いました。

○実施日 7月14日(金) 午前7時～8時20分

- ・江津中学校 222 名
- ・青陵中学校 251 名
- ・江東中学校 64 名
- ・桜江中学校 56 名



【9】ミニ集会の開催

ミニ集会とは、地域のコミュニティ交流センターや学校などに集まって、青少年健全育成のために非行の問題や子育ての問題など、その地域の実情に沿って話し合う数人から十数人規模の文字どおりミニサイズの地域住民集会です。

毎年、江津市では江津市更生保護女性会と保護司会が中心となって活発に実施されており、駐在所や地域の青少年健全育成関係団体や保護者に呼びかけて夏休み期間の7月、8月を中心に開催されています。

平成 29 年度の開催状況は下記のとおりです。

日 時	地 区	担当保護司	会 場	出席者
7 月 1 日(土)	江津本町	村 川 立 美	菟街道交流館	7 名
7 月 4 日(火)	跡市町	三 瀧 香 順	跡市地域コミュニティ交流センター	18 名
7 月 20 日(木)	有福温泉町	門 三 瀧 香 順 屋 臣 順	有福地域コミュニティ交流センター	8 名
7 月 21 日(金)	南 部	藤 田 厚 紀子 三 上 良 尚 子 千代延 尚 子	桜江中学校	18 名
7 月 25 日(火)	江津町	神 山 哲 夫	パレットごうつ	15 名
7 月 27 日(木)	東 部	福 間 徹 雄	江東中学校	17 名
7 月 28 日(金)	和木町	盆子原 民 生	和木地域コミュニティ交流センター	26 名
〃	西 部	三 瀧 香 順 江 村 上 博 行 江 富金原 晴 江	青陵中学校	33 名
7 月 31 日(月)	中 部	村 川 立 美 夫 豊 田 統 夫	江津中学校	30 名
11 月 20 日(月)	都野津町	盆子原 民 生 則 永 妻 寿 則	都野津地域コミュニティ交流センター	9 名
合 計		17 名		181 名

平成 29 年度江津分区表彰保護司

- 中国地方更生保護委員会会長表彰 藤代 雅光
- 中国地方保護司連盟会長表彰 神山 哲夫、桑原 英寿
- 松江保護観察所長表彰 千代延尚子
- 鳥根県保護司会連合会長表彰 福富 孝男、富金原晴江、門 屋臣、牛尾 絹子
- 江津市総合社会福祉大会長表彰 藤田 厚

平成 30 年度浜田地区保護司会江津分区役員名簿 (H29.4.13 ~ H31.3.31)

役職名	氏 名	役職名	氏 名
分 区 長	盆子原 民 生	研 修 部 長	三 上 良 紀
副分区长	藤 田 厚	犯 罪 予 防 部 長	三 瀧 香 順
事 務 局 長	永 妻 壽 則	協 力 組 織 部 長	村 川 立 美
会 計	村 上 博 行	監 事	和 原 勝 博
総務部長	豊 田 統 夫	〃	神 山 哲 夫

<<部会構成名簿>>

部会名	部 長	副部長	部 会 員
総 務	豊田統夫	和原勝博	永妻壽則 千代延尚子 鍛治恵巳子
研 修	三上良紀	神山哲夫	藤田 厚 富金原晴江 島田修二
犯 罪 予 防	三瀧香順	村上博行	山根英毅 藤代雅充 牛尾絹子
協 力 組 織	村川立美	福間徹雄	盆子原民生 福富孝男 門 屋臣

<<社会貢献活動担当保護司>> 永妻壽則

<<「江津更生保護」編集委員>> 豊田統夫 神山哲夫 和原勝博 村上博行 永妻壽則

保護司の異動 (退任されました) ~永年にわたりご協力ありがとうございました~

桑原 英寿 平成 29 年 11 月 30 日付

(就任されました) ~よろしく申し上げます~

島田 修二 平成 30 年 6 月 1 日付

編 集 後 記

広報誌「江津更生保護」特集号発行にあたり、江津市長 山下 修様、江津警察署長 早水賢三様にはお忙しいなか玉稿を賜りありがとうございました。

江津分区では、昨年「協力雇用主会」を設立、浜田地区全体では 27 社の会員となり今後の活動が期待されます。

これを契機に更生保護女性会や協力雇用主会との連携を深め、犯罪のない明るい社会の実現と青少年健全育成活動に積極的に取り組んで参ります。

今後とも地域の皆様のご支援、ご協力をよろしく願っています。

尚、本広報誌は江津市並びに江津市社会福祉協議会から助成を受けて発行しております。